

BOOK

『「自分ごと」だと人は育つ』 博報堂で実践している新入社員 OJT 1年間でトレーナーが考えること



- ・編著：博報堂大学
- ・定価：1,900 円（+税）
- ・刊行：2014 年 1 月
- ・出版社：日本経済新聞出版社

目次：

- 第1章 「人が育ちにくい時代」の認識から始める
- 第2章 育成・指導者と新入社員が同じゴールを持つ
――今の時代に合った新しいOJTの考え方
- 第3章 「任せて・見る」
――「自分ごと」を習慣化する
- 第4章 「任せ・きる」
――「自分ごと」をマスターする
- 第5章 「任せて・見る」と「任せ・きる」の合間に
考えるべきこと
- 第6章 フィードバックの効用と具体的な方法
- 第7章 OJTの1年間でトレーナーが考えること

1950年代に海外から輸入され、高度成長期には育成の主要な育成施策となり日本企業の「お家芸」とまでいわれた職場における人材育成－OJT（On the Job Training）。それがここにきて機能不全に陥っていると言われていています。その理由として、一般的に言われているのは「今の新人世代が『ゆとり世代』だから育成が難しくなった」という若者世代に非があるとする考え方。しかし、その捉え方は果たして正しいのでしょうか？

博報堂では、今の「人が育ちにくい時代」について向き合い、育成現場の環境変化をとらえて、2007年より今の時代に合ったOJTの再構築に取り組んできました。本書では、博報堂社内の新入社員OJTの新しい考え方とその取り組みを紹介しています。

業界や仕事内容に関わらず、「受け身」「消極的」と捉えられがちな新人世代に向き合うにあたり「単純な世代論」で済ませず、人の育成に真剣に取り組むことを望む人にとって役立つ内容となっています。今日の新入社員の個性、強みを伸ばすためのキーワード「自分ごと」に着目し、今の時代にあった育成のあり方を提案しています。

編著の「博報堂大学」（正式名称:HAKUHODO UNIV.）は、2005年4月に設立された博報堂の人材育成を担う企業内大学です。